

厚生省心身障害研究

進行性筋ジストロフィー症の成因と治療に関する臨床的研究

昭和52年度研究成果報告書

主任研究者 徳島大学長 山田 憲吾

昭和53年3月

目 次

序	1
班 長 山田 憲 吾	
進行性筋ジストロフィー症の成因と治療に関する臨床的研究	1
班 長 徳島大学学長	
山田 憲 吾	
機能障害進展過程の分析のまとめ	7
部会長 国立療養所西多賀病院	
湊 治 郎	
Duchenne 型筋ジストロフィー症の脊柱変形に関する研究 第2報 水平面形状について	10
国立療養所下志津病院 斉藤 篤・森尾 昭・斉藤 敏郎	
東京農工大学健体育学教室 服部 恒 明	
脊柱変形に対する予防対策	12
国立療養所西多賀病院 根立 千秋・千葉 隆	
筋ジストロフィー側弯の自然経過と発生要因についてとくに心理的面からの検討	13
徳島大学 松家 豊	
徳島療養所 早田 正 則	
PMD患者(児)の脊柱変形、その発生原因の究明及び予防対策	15
国立療養所刀根山病院 奥田 勲・膳 棟 造	
筋ジストロフィー患児の上肢機能について	17
徳島療養所、徳島大学 松家 豊・奥村 建明・白井 陽一郎	
成人筋ジストロフィー症の手動制御動作に関する研究	19
国立療養所箱根病院 稲永 光 幸	
種々の筋萎縮症患者の構音障害に関する研究	20
国立療養所箱根病院 三宅 孝 子	
DMP児の歩行時における下肢ROMの変化について	24
国立療養所再春荘 上野 和 敏・境 勇 祐・岡元 宏	
植川 和 利	
Duchenne型進行性筋ジストロフィー症における筋力低下の分布について	25
国立療養所下志津病院 神宝 知行	
PMD患者のJaw-Jerk-Reflexについて	26

国立療養所原病院	浜田泰三・小林誠・川添和幸 山田早苗・升田慶三・平木康彦 和田正士・河野七郎	
PMD咬筋筋電図のSilent Period について.....		28
国立療養所原病院	浜田泰三・小林誠・川添和幸 山田早苗・升田慶三・平木康彦 和田正士・河野七郎	
PMD咀嚼筋筋電図活動と咬合力との関係.....		29
国立療養所原病院	浜田泰三・小林誠・川添和幸 山田早苗・升田慶三・平木康彦 和田正士・河野七郎	
PMD患者の咀嚼機能について.....		31
国立療養所原病院	浜田泰三・小林誠・川添和幸 山田早苗・升田慶三・平木康彦 和田正士・河野七郎	
PMD患者の語音発語明瞭度について.....		33
国立療養所原病院	浜田泰三・山見俊明・星野静雄 山田早苗・升田慶三・平木康彦 和田正士・河野七郎	
病型別の筋力および拘縮の分布—Duchenne 型PMDの残存筋力とその低下度.....		35
国立療養所東埼玉病院	鈴木貞夫・浅野賢・態井初穂 石原伝幸・吉村正也・井上満	
8ミリカメラおよびEMGによるPMD患児の代償動作パターンの分析 —第2報—.....		37
国立療養所東埼玉病院	浅野賢・鈴木貞夫・態井初穂 石原伝幸・井上満・吉村正也	
足利日赤病院	小野康平	
PMD患者の体力に関する研究.....		38
弘前大学医学部	木村恒	
国立岩木療養所	森山武雄・高山昭一・七戸千恵	
国立療養所西多賀病院	湊治郎・森田昭一・鈴木喜代子 昆貢子・山田チャ	
PMDの歯牙の咬合圧に関する研究.....		40
弘前大学医学部	木村恒・矢野文雄	
岩手医科大学	石川富士郎・亀谷哲也・三條勲	

	三浦廣行	
国立岩木療養所	森山武雄	
進行性筋ジストロフィー症患者における咬合形態と口腔機能との関連に関する累年の研究…		43
弘前大学医学部	木村恒・矢野文雄・森山武雄 石川富三郎・亀谷哲也・三條勲 田中誠・長島明・三浦廣行 (岩木療養所 岩手医科大学歯学部)	
病態生理学的研究のまとめ		45
部会長 国立療養所西別府病院	三吉野産治	
PMDの自律神経機能一定量の自律神経機能検査法による		48
国立療養所南九州病院	中島洋明・今隈満・福永秀敏 田中信行 (鹿児島大学霧島分院)	
筋病変の定量化への試み		51
国立療養所南九州病院	福永秀敏・今隈満・中島洋明 納光弘・井形昭弘	
Echoによる経時的心機能の検索		53
国立療養所南九州病院	今隈満・福永秀敏・中島洋明 皆内康広・谷口博康	
“車軸様線維”を有する肩甲下腿型筋萎縮症の一例		55
国立療養所南九州病院	福永秀敏・中島洋明・今隈満 納光弘・井形昭弘	
筋ジストロフィー症の高弓口蓋についての定量的解析		56
国立療養所南九州病院	中島洋明・今隈満・福永秀敏	
筋ジストロフィー症の自律神経機能の研究		58
国立療養所兵庫中央病院	高井恒夫・高橋桂一	
テレメーター心電計を用いた適切な訓練量の決定		59
国立療養所兵庫中央病院	高井恒夫	
進行性筋ジストロフィー症患者の非観血的左心機能評価—左室収縮時相と超音波心エコー—		61
国立療養所鈴鹿病院	野村雅則・河野慶三・向山昌邦 (名古屋保健衛生大学内科)	
顔面肩甲上腕型筋障害分布を示したpolymyositisの1症例		64

国立療養所鈴鹿病院 向山昌邦・河野慶三 福山型先天性筋ジストロフィー症の脳病変について	66
国立療養所鈴鹿病院 向山昌邦 筋ジストロフィー患者の筋電図学的研究	68
徳島大学整形外科 松家 豊・杉口利彦・山本幸男 筋ジス症に於ける自律神経学的研究 特に、循環動態異常に関連するカテコラミン代謝の 意義	69
国立療養所下志津病院 多賀谷 茂・原田健司・富田崇敏 高宮将子・金子二郎・渡辺晴雄 O型死亡者の病初から死亡に至る心電図所見の検討と剖検所見	71
国立療養所西多賀病院 山田 満 PMDのMotor unit potentialにおけるlate component について(予報)	72
国立療養所箱根病院 村上慶郎・岡崎 隆・中村正敬 筋ジストロフィー症における消化器障害について -特にMyotonic dystrophyについて-	73
国立療養所箱根病院 中村正敬・岡崎 隆 成人筋萎縮症の脳波学的研究	74
国立療養所箱根病院 岡崎 隆・中村正敬 先天性筋ジストロフィー症の臨床的研究	75
国立療養所西別府病院 玉利秀夫・三吉野産治・西原重剛 松倉 誠・池田哲雄・大谷宜伸 三池輝久・折口美弘・東 明正 進行性筋ジストロフィー症の長時間心電図記録法による検討	77
国立療養所西別府病院 西原重剛・三吉野産治 九大温研 矢永尚士 UCG及び超音波断層法によるDuchenne型PMDの心機能の検討	78
国立療養所西別府病院 三吉野産治 九大温研 矢永尚士 進行性筋ジストロフィー症のリンパ球Subpopulation について	80
国立療養所長良病院 杉本公行・田口徹彦 DMPその他の神経筋疾患に対するCo-enzyme Q ₁₀ の影響	82
国立療養所再春荘 植川和利・岡元 宏 小清水 忠夫 熊大一内 上野 洋・出田 透 Duchenne型進行性筋ジストロフィー症における尿道ならびに外肛門括約筋筋電図所見と	

Duchenne 型進行性筋ジストロフィー症における尿道ならびに外肛門括約筋筋電図所見とその臨床的意義	84
国立療養所下志津病院 作田 学	
筋ジストロフィー症の研究 (第2報)	85
国立療養所川棚病院 森 一毅・迫 龍二・渋谷 統寿 辻 畑 光 宏	
DMP Duchenne 型の心肺機能障害について	87
国立療養所原病院 近末 康彦・升田 慶三・生富 和夫 和田 正 士	
広大第一内科 鈴川 睦夫・桑原 宗男	
進行性筋ジストロフィー症D型剖検例の検討	90
国立療養所原病院 升田 慶三・平木 康彦・生富 和夫 和田 正 士・海佐 裕 幸	
生検筋の電子顕微鏡による観察	91
国立療養所宇多野病院 吉岡 三恵子 京都大学皮膚病特別研究施設 中井 栄 一	
筋ジストロフィー症の非観血的心機能の検討	93
国立療養所宇多野病院 吉岡 三恵子 国立京都病院小児科 森 洋 一	
肩関節と肘関節の連合運動パターン——歩行解析装置 (Polgon) の応用——	96
国立療養所宇多野病院 北野 治男・小西 哲郎・池上 佳典 野口 貞子	
筋ジストロフィー症の筋血流測定法 (H ₂ クリアランス法)	100
国立療養所東埼玉病院 石原 伝幸・田村 武司・半谷 満太郎 今泉 順吉	
慶応大学神経内科 田中 耕太郎	
筋ジストロフィー症における末梢神経伝導速度——Collision Method による検討——	101
国立療養所東埼玉病院 石原 伝幸・田村 武司・半谷 満太郎 今泉 順吉・井上 満	
Duchenne 型進行性筋ジストロフィー症の心機図所見、特に機能障害との関連及び経時的変化 (第2報)	103
国立療養所東埼玉病院 田村 武司・井上 満・石原 伝幸 井上 満太郎・今泉 順吉	

表面電極を使用した定量的筋電図によるPMD患児の経過観察.....	105
国立療養所東埼玉病院 田村武司・石原伝幸・井上満	
進行性筋ジストロフィー症の生検骨格筋の崩壊の過程およびその特徴の電子顕微鏡的研究...	107
徳島大学医学部第一病理	
伊井邦雄・松沢一夫・須見登志子	
進行性筋ジストロフィー症への「胥エキス」の効果.....	108
国立療養所川棚病院 森一毅・迫龍二・渋谷統寿	
抗コリンエステラーゼ剤の運動終板とアセチルコリン受容体(ACh-R)におよぼす影響...	110
国立療養所川棚病院 迫龍二・森一毅・中沢良夫	
進行性筋ジストロフィー症の心機能の検討.....	113
愛媛大学 松田博・吉田哲也・武内克郎	
進行性筋ジストロフィー症心臓の病理学的検索.....	114
国立療養所川棚病院 奥保彦・森一毅・迫龍二	
中沢良夫	
秋田大学病理 所沢剛	
進行性筋ジストロフィー症の心機能.....	115
国立療養所川棚病院 奥保彦・迫龍二・森一毅	
中沢良夫	
進行性筋ジストロフィー症の生検筋による組織化学的研究.....	117
国立療養所八雲病院 篠田実・城守・館延平	
藤原真由美・安中俊平	
超音波 Doppler 法による進行性筋ジストロフィー症患児の心機能の検討.....	118
徳島大学医学部小児科学教室	
幸地佑・中野修身・植田秀信	
松岡優・湯浅安人・坂井ひろ子	
佐藤登	

共同研究

感染予防に関する共同研究 特にインフルエンザワクチン接種とHI抗体価について.....	120
国立療養所西別府病院 国療筋ジス班18施設・三吉野産治・高木京子	
長野伊都子・玉利秀夫・西原重剛	
久大 加地正郎	
九大温研 横井忠滋	
DMP症呼吸不全の臨床的研究.....	124
国立療養所川棚病院 松尾宗祐・他1施設13名	

心理障害、生活指導の研究のまとめ	127
部会長 国立療養所鈴鹿病院	
河野慶三	
MMP I からみた Duchenne 型筋ジストロフィー者の心理特性	130
心理部会部会長 河野慶三	
全国国立筋ジストロフィー児者収容施設児童指導員協議会会長	
浅倉次男	
筋ジストロフィー者の生活指導事例集	136
国立療養所鈴鹿病院 河野慶三	
D、M、P 児者の生活指導の研究——西多賀病院入院児者の生活プログラムの検討——	137
国立療養所西多賀病院 D、M、P 担当指導員一同 ・浅倉次男	
DMP 児における知能の研究	141
国立療養所南九州病院 西村喜文・日高一夫・杉田祥子	
集団行動に適応しにくい学童の生活指導	143
国立療養所南九州病院 郡山艶子・坂元美智子	
DMP 患者の心理特性	145
国立療養所南九州病院 杉田祥子・日高一夫・西村喜文	
DMP 患者みんなの願い記念文集出版を終えて	147
国立療養所南九州病院 坂元美智子・郡山艶子・田畑盛義	
中島洋明	
生活指導の研究（生活構造時間調査を実施して）	149
国立療養所南九州病院 西村喜文・日高一夫・杉田祥子	
中島洋明	
筋ジス患者の年間行事による自己発現について	151
国立療養所兵庫中央病院	
小西史子・荒井道子・龍見代志美	
中卒者筋ジストロフィー症者の作業療法の研究	153
国立療養所兵庫中央病院 佐野随鳳	
Duchenne 型PMD患者の tracing 作業負荷による心拍数変化	154
国立療養所鈴鹿病院 宮崎光弘・片山幾代・野尻久雄	
河野慶三	
Duchenne 型PMD者のボディ・イメージ—数値分配法による四肢に対するイメージの評価	157
国立療養所鈴鹿病院 片山幾代・野尻久雄・宮崎光弘	

河野慶三

要求水準検査法による Duchenne 型 P・M・D 者の行動特性 — 言語性検査と動作性検査との比較 —	159
国立療養所鈴鹿病院 野尻久雄・宮崎光弘・片山幾代 河野慶三	
PMD 患者の高等教育についての問題点	162
国立療養所鈴鹿病院 宮崎光弘・片山幾代・野尻久雄 河野慶三	
Duchenne 型 PMD 患者の要求水準検査法にみられる行動特性の経年変化	164
国立療養所鈴鹿病院 野尻久雄・河野慶三・片山幾代 宮崎光弘	
作業活動（中卒以上）の検討 — 入院患者の作業・職能（趣味）調査報告 —	166
国立岩木療養所 佐藤勇	
成人筋ジストロフィー患者の心理特性に関する研究	168
国立療養所箱根病院 稲永光幸	
Duchenne 型筋ジストロフィーの知能に関する研究	170
国立療養所箱根病院 稲永光幸・三宅孝子	
「書」が患者の心理面に及ぼす影響について	172
国立療養所箱根病院 稲永光幸・小原義夫	
PMD 患者の情緒の研究 — 連想刺激語による GSR 結果の検討 —	173
国立療養所長良病院 丸尾正志・森崎郁夫・榎野晃 藤田家次	
国立療養所西多賀病院に入院の進行性萎縮症児者の親子関係に関する研究 1	175
国立療養所西多賀病院 星八重子・昆貢子・後藤親彦 浅倉次男	
P・M・D 児の社会性 — 絵画欲求不満テストを実施して —	176
国立療養所再春荘 末竹寛子	
PMD 症児の遊びの研究 — 野球用具の改良と試作 —	178
国立療養所宇多野病院 鞠山紀子	
PMD 児のホスピタリズムに関する研究	180
国立療養所宇多野病院 高橋邦枝	
筋ジストロフィー者の生活指導及び心理研究	182
国立療養所宇多野病院 中西孝	
生活指導の一環として人形劇を試みて（第 2 報）	183

国立療養所東埼玉病院 景山恭子・川上範子・吉岡桂子 山川和正・矢萩悦・山本訓子	
筋ジストロフィー症児の就学前教育	185
国立療養所松江病院 黒田憲二・飯塚治枝・森山紀子 荒川陽子・鳥谷初代	
筋ジストロフィー症患者の精神医学的観察と生活歴に関する研究	188
愛媛大学医学部 柿本泰男・佐藤勝・井上良一 三宅正治	
PMD high stage 者の主体的集団活動における側面的援助の一考察	189
国立療養所医王病院 正木不二磨	
余暇活動におけるソロバン指導を試みて	194
国立療養所医王病院 中山緑・小原照子・新田節子	
作業サークルを通して患者に及ぼす影響と地域社会とのかかわり ―七宝焼を中心にして―	196
国立療養所川棚病院 永田智由子・谷村富子・琴岡静香 中野俊彦・井上幸平	
心理検査から見たカウンセリングにおける心理的变化(ケース・レコード)	197
国立療養所川棚病院 中野俊彦・井上幸平・永田智由子 琴岡静香・谷村富子	
筋ジストロフィー病棟における生活指導に関する研究 ―作業指導における一考察―	200
国立療養所八雲病院 大友政明・桜田裕・藤島慎一 木村美知子・出町友子・遠藤美恵子	
PMDの知能に関する研究 ―ITPAによる検討―	202
国立療養所八雲病院 桜田裕・大友政明・藤島慎一	
在宅DMP児の実態調査 ―家庭と教師へのアンケート調査を通して―	204
国立新潟療養所 平尾一幸・亀井俊治・風間忠道 湯浅瀧彦	
PMD患者の情緒的側面について Rorschach test による情緒的側面の研究	206
国立徳島療養所 早田正則・川合恒雄・中西誠	
PMD患者の生活指導における遊びについて(人間関係からみた集団構造についての一考察)	207
国立徳島療養所 中西誠・早田正則・川合恒雄	
PMD低IQ児に音楽療法を試みて(その2)	208
国立療養所西別府病院 吉良陽子・寺田真弓	

機械器具の開発研究のまとめ	211
部会長 愛媛大学医学部整形外科	
野島元雄	
改良式起立台の工夫	215
国立療養所南九州病院 新屋正信・今隈満・福永秀敏	
中島洋明	
筋ジス用BFOの改良試作	217
徳島大学 松家豊	
国立徳島療養所 奥村建明・白井陽一郎	
徳島大学教育学部 松永強右	
筋ジストロフィーの装具療法に関する研究	218
徳島大学 松家豊・小松忠雄・杉口利彦	
国立徳島療養所 奥村建明・白井陽一郎	
「いざり」および「四つばい」のための移動用車 第2報-「四つばい」のためのクローラ	220
国立療養所下志津病院 斉藤篤・松下登・斉藤敏郎	
電動式椅子便器の改良	222
国立療養所西多賀病院 菊地伊三郎・沖田ふみ子・長谷川信雄	
川村とよ子・佐藤弘子	
PMD患者移動用機械器具の検討	225
国立療養所西多賀病院 加藤正江・スタッフ一同	
PMDに適したMobile Radial Arm Support の製作	226
国立療養所箱根病院 村上慶郎・古内文夫	
成人筋ジストロフィー患者のADLに関する研究 (1)ADL向上用具に関する研究	227
国立療養所箱根病院 古内文夫	
筋ジストロフィー患者に適した作業台及び自助具の工夫	229
国立療養所西多賀病院 門間勝弥・五十風俊光	
PMD患者にふさわしい車椅子の開発	231
国立療養所西多賀病院 穴戸勝枝・鈴木伸一・五十風俊光	
車椅子の選び方	232
国立療養所再春荘 境勇祐・上野和敏・植川和利	
岡元宏・小清水忠夫	
PMD患者の体型に合わせた車椅子の工夫	234
国立療養所再春荘 阿南薫・岡崎浩子・佐藤美代子	

PMD症児(者)の履き物の工夫	236
国立療養所宇多野病院 藤木 るり子	
洋式腰かけ便器えの立ち上り装置の試作研究	237
国立療養所松江病院 三島 昌・中島敏夫	
歩行用装具、自介助具に対する改良、開発研究	239
愛媛大学 野島元雄・首藤 貴・土居晶宜	
大塚 彰・赤松 満	
脊柱変形に対する発症防止、矯正装の開発研究	240
愛媛大学 首藤 貴・土居晶宜・大塚 彰	
赤松 満・野島元雄	
車椅子取付テーブルの試作(第2報)	241
国立療養所医王病院 正木 不二磨	
筋ジス患児(者)に適応する昇降式移動装置	244
国立療養所八雲病院 野口 房子・湯浅柄 美子・佐藤 リサ子	
Duchenne 型筋ジストロフィー症の下肢用夜間副子の検討 装具歩行患者を中心として	245
国立療養所八雲病院 藤島 恵喜臓・湯浅柄 美子・松原 伊佐美	
佐藤 直従	
電動式車椅子索引車試作改良について	246
国立徳島療養所 早田 正則・川合 恒雄・中西 試	
PMD用電動ロクロの試作改良について	248
国立徳島療養所 早田 正則・川合 恒雄・中西 試	
電動油圧リモートコントロール水洗トイレ付ベッドの効果的活用について	249
国立療養所西別府病院 秋吉 雅子・百武 多津子・小畑 千代子	
看護研究のまとめ	253
部会長 徳島大学医学部	
松家 豊	
看護共同研究 「入浴に関する看護」まとめ	257
松家 豊	
筋ジス成人病棟における入院生活の工夫(レクリエーションの試み)	260
国立療養所箱根病院 山口 龍子・保坂 スミ・山口 桂子	
増子 ハル・岩本 フサエ・村上 英子	
御嶽 延代・綿貫 八重・長堂 和江	
若松 淳子・原 さと子・奥山 加代子	

筋ジス患者自動車運転免許取得後の追跡調査	261
国立療養所箱根病院	山口 龍子・保坂 スミ・山口 桂子 増子 ハル・岩本 フサエ・村上 英子 御嶽 延代・綿貫 八重・長堂 和江 若松 淳子・森田 雅子・小川 あや子
進行性筋ジストロフィーの思春期、青年期患者とその生活（特に作業療法棟のかかわりについて）	262
国立療養所西別府病院	石川 早苗・田北多 紀代・小畑 千代子
筋ジス病棟における急変時の看護手順表作成	265
国立療養所西別府病院	百武 多津子・松下 ハナ子・小畑 千代子
陰部処置用具の考察	267
国立療養所西別府病院	横枕 美子・上利 知子・森 弥生 森川 信子・矢野 宮子・大口 武彦
坐位姿勢を保つための自助具の考察	268
国立療養所西別府病院	大谷 喜栄子・山元 よみ子・小平 まゆみ 安川 郁子
末期患児を通じて死に直面する他児へのアプローチ	269
国立療養所長良病院	郷津 佐世子
PMD末期患者の分析 死亡患者（児）の記録からの考察（第1報）	271
国立療養所西多賀病院	昆 貢子・岩井 幸子・浅倉 次男 山田 満
PMD患者の各ステージにおける最も安楽な体位の研究	273
国立療養所西多賀病院	天野 勝子・郷内 カツエ
オシボリの清潔性と利用について	274
国立療養所再春荘	藤岡 美代子・宗 朋子・佐々木 弘子 中原 潤子・田中 嘉子
筋ジストロフィー者の看護管理に関する研究（その3）	276
国立療養所下志津病院	大塚 加津子・筋ジス研究会他13名
車椅子及びベッド座位で使用可能な改良オーバーテーブル	278
国立療養所原病院	岡田 成子・研本 米子・吉岡 美智子 他一あゆみ病棟一同
マジックテープを利用した車椅子の安全ベルトについて	280
国立療養所宇多野病院	広川 由紀子・加藤 悦子・久乗 ユウ
移動式足踏台の作成及び工夫	282

国立療養所東埼玉病院	成 富 明 子 ・ 古 橋 祐 子 ・ 中 村 文 美 佐 藤 昌 子 ・ 沖 村 悦 子 ・ 滝 あけみ	
凍傷の対策		284
国立療養所東埼玉病院	成 富 明 子 ・ 桧 山 豊 子 ・ 跡 治 寿 江 藤 原 みどり ・ 大 塚 幸 江 ・ 名 地 弘 子	
PMD重症児の生活圏		285
国立療養所東埼玉病院	成 富 明 子 ・ 前 川 光 子 ・ 村 松 直 子 平 山 千 枝 子 ・ 今 井 さ つ き ・ 富 田 光 子 桧 山 豊 子	
PMD児に電動車椅子を使用して		287
国立療養所東埼玉病院	大 野 美 佐 子 ・ 佐 藤 る み 子 ・ 後 藤 雪 美 河 野 久 美 子 ・ 窪 田 冊 子	
PMD児の臥床時における排便姿勢の工夫		289
国立療養所東埼玉病院	大 野 美 佐 子 ・ 上 野 山 せ い 子 ・ 河 西 信 子 生 巢 百 合 子 ・ 山 本 照 美	
先天性患者への生活援助（難聴を伴う）		291
国立療養所東埼玉病院	板 橋 光 江 ・ 林 久 美 子 ・ 黒 岩 正 子 小 池 美 子 ・ 千 葉 た み 子	
ウォーターベッドの効用		293
国立療養所東埼玉病院	成 富 明 子 ・ 古 橋 祐 子 ・ 中 村 文 美 片 山 道 子 ・ 滝 あけみ	
筋ジス病棟における体温測定の検討		294
国立療養所東埼玉病院	大 野 美 佐 子 ・ 新 垣 小 夜 子 ・ 樋 口 光 江 松 木 き み え ・ 襄 田 智 子 ・ 松 浦 涼 子	
強度に脊柱変形を伴った患児の生活援助		296
国立療養所東埼玉病院	岩 崎 と よ ・ 那 須 野 美 子 ・ 竹 内 洋 子 加 藤 則 子	
筋ジス病棟における中学生患児との接し方		298
国立療養所東埼玉病院	工 藤 や い ・ 諫 山 和 代 ・ 千 葉 幹 子 甲 斐 里 美	
Dケアの実際		300
国立療養所東埼玉病院	大 野 美 佐 子	
冬期における登校下校時に着用する上衣の工夫		301
国立療養所医王病院	中 山 緑 ・ 立 道 一 子 ・ 他若竹病棟スタッフ一同	

「ビーチボール使用による睡眠中の体位の考察」	303
国立療養所川棚病院 辻 純子・松田 善洋	
疾患の特色を考慮し、POS一部導入による記録の検討	305
国立療養所八雲病院 佐藤 リサ子・湯浅柄 美子・野口 房子	
障害の進行と情緒変化に対する調査	309
国立新潟療養所	
五十嵐 節子・後藤 静江・桑原 ちよ	
渡辺 キクノ・島岡 康子・高橋 紀子	
渡辺 キエ子・春日 直子・山田 美津子	
小林 なみ江・対馬 ミツ・渡辺 千恵子	
筋ジス病棟における女子患者の看護	311
国立新潟療養所	
井沢 フミ・高野 道子・若槻 真利子	
野中 政子・赤沢 信子・近藤 すみ子	
清水 恒子・外山 友子・小林 絵々子	
小尾 京子・他病棟一同	
短期入院受け入れについて	313
国立療養所刀根山病院 大久保 一枝・笹田 みや・押方 真理	
玉田 葉子・木下 小夜子	
PMD病棟の生活介助におけるボディメカニクスについて	315
国立療養所刀根山病院 大久保 一枝・小谷 和子・中元 淑子	
森 永 しのぶ	
自助具の工夫	316
国立療養所刀根山病院 大久保 一枝・谷 昭子・中村 三枝子	
栗林 真理子・松尾 美智子・西本 設子	
看護手順作成	318
国立療養所刀根山病院 大久保 一枝・岡田 史子・柚上 桂子	
岡田 ゆう子・宮田 真澄	
DMP病棟カーデックスの検討	320
国立療養所西奈良病院 酒井 久子・山口 スエ子・木下 美世施	
井川 君枝・他パンダ病棟一同	
筋ジストロフィー重症病棟における環境衛生調査	321
国立徳島療養所10病棟 坂本 政子・福田 シゲル・他10病棟スタッフ一同	
車椅子における看護用具の改良、改発	325
国立徳島療養所 久次米 勝子・安富 千恵子・他12病棟看護婦一同	
車椅子期患者にみられる殿部痛とその対策	326

国立療養所西多賀病院 石井正子・藤田たけ子・和泉リル子	
DMP病棟における記録の一考察 一潜在性心不全を合併した患児の看護計画とその実際	329
国立療養所南九州病院 赤塚隆子・山下百合・吉永京子 福元信子・福田美代子・濱田テル	
看護機器の開発・便器車の考察	331
国立療養所南九州病院 吉永京子・山下百合・本村成子 笹川久美・久保田みち子・原田さとの	
DMP病棟における頑癬について	334
国立療養所南九州病院 久保照子・山下百合・吉永京子 阿久根ノブ・坂元和代・藤園喜美子	
電動車椅子上の躯幹支持装置の工夫	336
国立療養所兵庫中央病院 大谷美智子	
PMD患者の検脈について	337
国立療養所鈴鹿病院 松井トシ・山田万千子・伊藤喜代子	
テーラープレス装着の問題点について	339
国立療養所鈴鹿病院 山中ユキ子・森静代・酒井憲子	
おやつ時間の改善試行	340
国立岩木療養所 小児PMD病棟スタッフ一同・七戸千恵	
共同研究「入浴に関する看護」	
筋ジストロフィー病棟における入浴に関する研究	343
国立療養所南九州病院 吉永京子・山下百合・赤塚隆子 山口良子・椎原玉乃・福田美代子 中村タツ子・安藤順子	
改良浴室に関する報告	345
国立療養所兵庫中央病院 荒木エリ子・杭原節子	
筋ジストロフィー症患者におよぼす入浴の心理的影響について	347
国立療養所鈴鹿病院 曾根妙子・野口清子・辻清子 木寺よし子・松井トシ・上山のぶえ 高見礼子・田中美代子	
“入浴に関する看護”設備について	353
国立療養所西多賀病院 佐藤枝美子・三井和子・菅原八代重 小山勝次	
入浴時の着脱介助と着脱室の改善	356
国立療養所医王病院 中山緑	

浴場の改良を実施して.....	357
国立療養所再春荘	森下茂子・久末静代・米丸瑞子 他筋ジス二病棟一同
銭湯式浴槽の入浴介助による看護疲労について.....	360
国立岩木療養所	成人DMP病棟スタッフ一同・小児DMP病棟スタッフ一同・七戸千恵
入浴前後のフリッカー値の比較と要求水準について.....	363
国立療養所鈴鹿病院	野口清子・高見礼子・曾根妙子 城愛子・田中美代子
入浴に関する看護（入浴介助）.....	366
国立療養所刀根山病院	大久保一枝・八反喜久子・国広泰美子 宮田美智子
国立療養所宇多野病院	佐藤茂美・山名田泰伸・高橋貴代美
国立療養所兵庫中央病院	大谷美智子・荒木エリ子・杭原節子 原田敬子・勝田勇治・野田昭代
エレベートバス導入後の考察（油圧式ストレッチャーの導入を試みて）.....	368
国立新潟療養所	五十嵐節子・福島ウメ・篠田睦子 須田紀美子・小山ミナ子・星千恵子 近藤由美子・仲丸ミス・山田恵子 上野ミツエ・伊原君代
入浴システムについて.....	370
国立徳島療養所	吉尾千代子・東山溪子・青木喜美子 伊賀二美恵・高藤信江・後藤田真弓 福田シゲル・松原秋子・深見恵子 久次米勝子・伊藤秀子
「入浴に関する看護」入浴介助者の労作負担と健康管理.....	372
国立療養所東埼玉病院	大野美佐子・岩崎美佐子・前村久子
現有入浴場においての入浴介助の工夫と改良点.....	376
国立療養所東埼玉病院	荏協富美二・加藤栄子・農中裕美 渡辺幸子
浴場の改良を実施して.....	377
国立療養所川棚病院	中原フサエ・淵上勝海・嘉林宏義 鈴田久利・他南病棟勤務一同
栄養学的研究のまとめ.....	379

部会長 弘前大学医学部

木村 恒

DMPの栄養改善における一考察	381
国立療養所南九州病院 山口 フサ子 ・ 平田 理恵子 ・ 村岡 恵美子 加治木 代理子 ・ 福元 信子 ・ 吉松 キヌエ	
食餌の全経過におよぼす影響について	382
国立療養所下志津病院 鷗 沢 美智子	
脂肪附加による長期栄養学的考察	385
国立療養所東埼玉病院 大島 久夫 ・ 小林 繁 ・ 小林 由美子 岡 茂 ・ 三田 誠一郎	
PMD患者のエネルギー代謝に関する研究 基礎代謝量(BMR)と甲状腺ホルモンの関係について	387
徳島大学医学部 新山 喜昭 ・ 大中 政治 ・ 坂本 貞一	
PMD患者のN出納と蛋白栄養状態—そのFollow up study	389
徳島大学医学部・国立徳島療養所 新山 喜昭 ・ 大中 政治 ・ 坂本 貞一 岡田 和子 ・ 新居 さつき ・ 山上 文子 坂口 久美子	
PMD患者の栄養指導	390
弘前大学医学部 木村 恒	
PMD患者の脂質代謝に関する研究	392
弘前大学医学部 北 武 ・ 木村 恒	
PMD患者の貧血に関する研究	393
弘前大学医学部 北 武 ・ 木村 恒	
PMDの至適体位に関する研究	395
弘前大学医学部 木村 恒	
PMD患者の栄養摂取量について	397
国立徳島療養所 新居 さつき ・ 山上 文子 ・ 坂口 久美子 新山 喜昭	
PMD患者のSDA(特に食事とともにエネルギーロスについて)	399
国立徳島療養所 新居 さつき ・ 山上 文子 ・ 坂口 久美子 大中 政治 ・ 新山 喜昭	
DMP末期患児の栄養に関する研究	401
国立療養所西別府病院 浅井 和子 ・ 城戸 美津子	

ジストロフィーマウスにおける筋疾患の発現、進行と栄養条件との関連	402
弘前大学医学部	山口 迪夫・真田 宏夫・宮崎 基嘉 田村 盈之輔
食餌基準に関する研究	406
弘前大学医学部	岩重 一・木村 恒・鶴沢 美智子 田村 盈之輔・新山 喜昭・新居 さつき 原 正俊・堀 サチ子・三吉野 産治
生化学的ならびに基礎研究のまとめ	409
部会長 国立療養所刀根山病院	谷 淳吉
PMDにおける凝固線容能	413
国立療養所南九州病院	今隈 満・福永 秀敏・中島 洋明 丸山 征郎
神経筋接合部の形態学的研究統報—走査型電子顕微鏡による観察	415
国立療養所下志津病院	斉藤 篤・斉藤 敏郎
千葉大学第一解剖	増子 貞彦・石川 裕二・嶋田 裕
神経筋接合の機能分化とその形態学に関する細胞培養法を用いた研究	417
国立療養所下志津病院	斉藤 篤・斉藤 敏郎
千葉大学医学部第一解剖	増子 貞彦・石川 裕二・嶋田 裕
PMD患児(者)におけるステロイドホルモン分泌動態について(尿中ステロイドホルモンの分析)	419
国立療養所長良病院	桑原 英明
正常及び筋ジストロフィー由来筋芽細胞の生化学的研究	420
国立療養所西多賀病院	中川原 寛一・山田 満
筋ジストロフィー患者の感染免疫能に関する研究特にリンパ球、単球、多核球の遊走能について	422
国立療養所再春荘	植川 和利・岡元 宏・小清水 忠夫
熊大一内	田宮 二郎・藤瀬 隆司・志摩 清
筋構造蛋白のSDS電気泳動法による研究(第2報)	424
国立療養所再春荘	植川 和利・岡元 宏・小清水 忠夫
熊大一内	上野 洋・内野 誠・出田 透
Duchenne型進行性筋ジストロフィー症の血漿中、生検筋中、尿中のcyclic AMP濃度について	426
国立療養所原病院	升田 慶三・平木 康彦・生富 和夫

	和田正士	
広大第3内科	山本みゆき・糸賀勲子・鬼頭昭三	
Prednisolone 負荷によるCPK、LDH、ミトコンドリアGOTの変動について……………		428
国立療養所宇多野病院	野口貞子・北野治男・小西哲郎 池上佳典・太田光熙・遠藤二郎	
DMPのHLA-Frequency について……………		430
国立療養所宇多野病院	野口貞子・北野治男・小西哲郎 池上佳典・吉岡三恵子・鍋谷登	
DMPのミトコンドリアGOTについての研究……………		432
国立療養所宇多野病院	野口貞子・北野治男・小西哲郎 池上佳典・太田光熙・遠藤二郎	
進行性筋ジストロフィー症および筋ジストロフィーマウスにおける血球膜の異常……………		434
国立療養所宇多野病院	野口貞子・神奈木玲児・小西哲郎 北野治男・吉岡三恵子	
Adenyl cyclase のラット正常筋および変化筋における電顕組織化学的变化……………		437
徳島大学医学部	桧沢一夫・須見登志子	
DMP患者における酸化障害の検討……………		438
国立療養所松江病院	加藤典子・中島敏夫	
鳥取大学脳神経小児科	吉野邦夫	
筋の発生分化過程における筋組織の脂質代謝系酵素の異常……………		440
愛媛大学	奥田拓道・永井克也	
筋ジストロフィー症における酵素異常の研究1 人筋疾患由来の筋培養細胞における酵素 パターン……………		441
弘前大学医学部	佐藤清美・今井房子・畑山一郎 佐藤剛	
筋ジストロフィー症における酵素異常の研究2 グリコーゲン代謝系酵素について……………		443
弘前大学医学部	佐藤清美・佐藤公彦・今井房子	
筋強直性ジストロフィー症における血中デスマステロールの検討……………		445
弘前大学医学部第3内科	小林正資・中村光男・成田祥耕 大平誠一・松永宗雄	
筋強直性ジストロフィー症におけるLHRH試験及びdiphenylhydantoin 投与時のTR H試験について……………		446
弘前大学医学部第3内科		

松永宗雄・成田祥耕・斉藤広志
武部和夫

進行性筋ジストロフィー症におけるcyclic AMPおよびGMPの研究…………… 449

国立療養所八雲病院 篠田実・城守・鎧延忠
酒井正・前島静二・本間美之
宇井理生

ビタミンE欠乏モルモットによる筋ジストロフィー発現過程の代謝異常に関する研究…………… 450

国立栄養研究所 山口迪夫・真田宏夫・宮崎基嘉
東條仁美・新関嗣郎・田村盈之輔

筋ジストロフィー症及び関連疾患における血清脂質及びリポ蛋白の研究…………… 454

国立新潟療養所 桜川宣男・佐藤修三・高沢直之
高橋壮一郎

正常及びジストロフィーマウス由来再生筋芽細胞のクローン培養…………… 455

国立療養所刀根山病院 葛宗俊明・智片英治・香川務
谷淳吉

成熟マウス再生筋由来筋芽細胞及び胚筋芽細胞の研究…………… 457

国立療養所刀根山病院 智片英治・香川務・葛宗俊明
谷淳吉

正常成熟及び筋ジストロフィー発症マウス再生筋芽細胞の筋線維形成及びその維持過程の
研究…………… 458

国立療養所刀根山病院 香川務・智片英治・葛宗俊明
谷淳吉

筋ジストロフィー症における生体膜の生化学的研究…………… 461

国立療養所刀根山病院 野田庸二郎・藤原正晴・楠瀬恵美^{*}
楠瀬正道^{*}
大阪市立大学刀根山結核研究所^{*}

進行性筋ジストロフィー症の染色体の研究…………… 462

国立療養所刀根山病院 葛宗俊明・谷淳吉

進行性筋ジストロフィー症における内分泌的検討…………… 464

国立療養所西別府病院 三吉野産治・三池輝久・藤本茂紘

特定研究まとめ

部会長 国立療養所鈴鹿病院
河野慶三

南九州地区筋萎縮症の疫学的調査研究…………… 466

国立療養所南九州病院	中島洋明・今隈満・福永秀敏 栗山勝・納光弘・井形昭弘 比嘉秀正	
東海地区における在宅筋ジス患者の実態調査		468
国立療養所鈴鹿病院	向山昌邦・河野慶三	
女性Duchenne型類似例の検討		469
国立新潟療養所	片桐忠・高沢直之・湯浅龍彦 桜川宜男・川瀬康裕	
研究成果の評価		472
評価委員	桧澤一夫・井上満	
議事録(抄)		474
厚生省心身障害研究「進行性筋ジストロフィー症の臨床的研究」(山田班)		477
昭和52年度心身障害研究「筋ジ」臨床研究班(山田班)		479

序

ここに、昭和52年度の研究成果報告書を刊行するに至った。誠に喜びに堪えない。ところで、各位と共に長年に亘り苦楽を共にし、鋭意努力して来たこの厚生省心身障害研究補助金による「進行性筋ジストロフィー症の成因と治療に関する臨床的研究」は、継続研究計画の年次進行と共に、愈々今回、昭和52年度をもって最終年に到達し、ここに一応の終止符が打たれることになったことを報告しなければならない。惜別にも似た感懐もないことはない。

発端に遡って筋ジストロフィーの研究事業を顧れば、最初は昭和39年、特定の国立療養所内に筋ジストロフィー病棟を設置し、患児の療育を行うという国の方針に呼応して発足したものである。当初は8施設を中心とする極めて小規模な研究会形式のものであったが、昭和44年、厚生省特別研究費補助による臨床社会学的研究に採用され、さらに、昭和46年来は心身障害研究費補助金補助による前述研究事業として、一段と大型化された研究班に発展するに至った。そして、参加施設数も次第に増加し、国療21、大学3となり、収容患者数も約1,500名を越え、班会議出席者数も約300名を算するに至った。

ともかく、この研究事業は筋ジストロフィー症という単一疾患を中心に、発足以来10数年にも亘り継続してきたものであってみればこの間、色々な紆余曲折があったとしても不思議ではない。ところが、本研究はこの宿命的難病ただ一筋にこれを対象として、あらゆる風雪に堪えて研究の火を灯し続け、遂には巨大な炬火に点火することができたものである。ここに、われわれ研究者はそれが示した不屈の研究意欲とその不朽の成果にささやかな誇を感じず。もっとも疾患そのものの性格もあって、病因を解明して治癒に導くと云うような華々しさを期待することはできなかったけれども、常に誠実に、病気は病気として科学的に取り扱い、同時に病人としてこれに温かく対処するという態度を忘れなかった所に本研究の特質があった。本研究班の8部会研究のうち生化学的ならびに基礎的研究、機能障害および病態生理学的研究は主として前者に属し、看護や心理障害、栄養、療護機器開発研究等は主として後者に属するものであった。本年度は従前を享け、当面の重要テーマについては後述の如く共同研究として取りあげ、高次の専門に関わる特定課題については指定研究として発展を図った。

本症の研究成果の特徴としては、多数例について長期にわたり観察し、あらゆる角度から詳しく検討できたこと、また、患者の療護については物心両面から手厚いアプローチを試み、全人的立場から彼等に生き甲斐を与えるよう努力してきたこと、さらに、多彩な基礎的研究を通し、常に病因論との接点を求め、臨床の実際に還元し得るよう心を砕いた事などがあげられる。そしてこれら研究業績はいずれも日常臨床の多忙の中に精魂を傾けて仕上げられた珠玉編であり、その独自の内容と質は内外諸学会の批判にも堪え得るものと考えられ、患者の福祉に寄与するところ少なくないと信じている。その一次的効果としては患者の延命その他の面でも見られるが、二次的効果としては診療実績の質的、量的向上としても現われている。

ここに、本研究事業を閉じるに当り、不肖私が長年班長としてお世話して来たのであるが、至

らぬ点多々あったことと反省し、御寛容をお願いしたいと存じている。しかし、この間、研究者各位、厚生省当局、日本筋ジストロフィー協会などから戴いた一方ならぬ御厚情と温かい御指導、御支援に対しては衷心より感謝申し上げる次第である。と同時に研究事業の中途において、その完成も見ずに夭折された貴い生命に対し、深く哀悼の誠を捧げるものである。各位の自彊、自愛を折る。

班 長 山 田 憲 吾

総 括 報 告

進行性筋ジストロフィー症の成因と 治療に関する臨床的研究

徳島大学 学長

班 長 山 田 憲 吾

本研究は、昭和39年国立療養所における筋ジストロフィー病棟設置を契機として開始され、昭和44年には厚生省特別研究費による臨床社会学的研究、さらに昭和46年来は心身障害研究費による大型研究として臨床分野を担当して来たが、本年度は愈々この継続の研究計画の最終年に到達した。

この間蓄積した豊富な知識と経験を基盤として、もっぱら臨床の実際面に関し、深遠にして多彩な研究を展開して今日に及んだが、その成果には見るべきものが少なくない。以下において、本年度の成果の概要を8部会に分けて報告する。さらに、共同研究、指定研究についても述べる。

1) 機能障害研究部会 (部会長 湊 治郎)

進行性筋ジストロフィー症、特に Duchenne 型について、発現する各種の障害の進展過程を運動器を中心に詳細に観察、分析し、これらに対する障害進展の防止策について検討した。即ち、脊柱変形、特に側弯について、また、上肢や下肢の筋力や関節運動について、その障害進展の様相を明らかにした。さらに、咬合系異常の発現様相やこれらに関連する発語系や頭部顔面の形態異常について攻究している。この方面の研究は他に類例を見ない新分野の開拓と見做される。

2) 病態生理学的研究部門 (部会長 三吉野 産治)

この方面の研究は極めて多彩かつ精緻で、ユニークな成果をあげているものが多数見られる。これを次の5項に概括する。

① 心肺機能障害に関する研究としては、UCGによる心機能測定で低下を示す傾向が伺われるとの報告が多かった。年令や胸郭変形との関連においてこの点を調査し、さらにジギタリス投与効果や運動負荷テスト、呼吸相との関係からも追究した。また、心機図に関しては左心機能の低下が認められるが、さらに運動時や入浴時の変化をテレメーターでチェックした。なお、心電図の精密な検討である程度の予後判定や危険予知も可能であるとしている。

② 病理学的、組織学的研究としては、剖検所見として骨格筋については病変は四肢筋に強く横隔膜や肋間筋に軽く、心筋については刺戟伝導系に変化が認められたと報告している。これらは、本症の臨床像に裏付けを与えるものである。特殊例として先天型筋ジス福山型の剖検所見も

